

NIE 実践研究会新聞

第1号

京都市立
羽東師小学校
教頭 内野英教

NIE 実践の裾野を広げるために

研究会から魅力的な取組の発信を



研究会で実践しようとしている指導案集やワークシート児童が取り組んだ自作新聞などをもとに協議した。

9月16日(金) 羽東師小学校校長室にて

令和4年9月16日の午後、今後のNIE実践に関わる打ち合わせが京都市立羽東師小学校校長室で行われた。打ち合わせには、京都市NIE実践研究会会長の藤田校長と、研究会役員の内野、古田、藤原が参加し、研究会で実践しようとしている指導案集やワークシート、児童が取り組んだ自作新聞などをもとに協議した。

話し合いの中で、京都新聞社石崎様より新聞記事の使用許可をいただき、今後の資料作成の見通しをもつことができた。また、京都府NIE推進協議会榎木先生からは、「学校訪問の折には、NIE実践研究会に入るように伝えていただきます。」というお言葉をいただいた。

全国大会に向けて、新しい人材の発掘は、本研究会で早急に進めていきたい課題である。日々の授業づくりにつながるような魅力的な取組を発信し、NIEに関わりたい、やってみてみたいという先生の裾野を広げていきたい。

教えて！ 新聞記者さん

授業の中で記者に聞きたいこと

NIE実践研究会では、今後、新聞記者の講師派遣を活用していこうと考えている。そこで、より効果的な実践をしていけるよう、担任の先生に希望調査をした。



はがき新聞の工夫って「見出しのつけ方」で表現力が伸びる

はがき新聞を見たときに最初に目がいく言葉が見出しである。見出しは、記事全体の内容をひと目でわかるように短い文で書くため、相手の興味を喚起する言葉を選んだり、内容をひと言で言い表したりする力(表現力)を高めることにつながる。

①本文から見出しになる言葉を探す

②「理由」や「疑問」、「状況説明」を見出しにする

③目立つような色づかいやレタリングをする

以上のような事柄に気を付けて見出しづくりをすると、味のある新聞に仕上がることが多い。読み手を意識して、楽しみながら制作できるとなおよい。小学校の授業ではがき新聞を作成する際は、ぜひ、見出しに注目したい。



研修案内

「新聞記者の方が授業のゲストティーチャーに来てくれるとしたら、どのようなことを聞きたいですか。」

①インタビューのコツを教えてください。

②上手な小見出しの書き方・書かせ方が知りたい。

③文章を分かりやすく短くまとめる方法を知りたい。

④低学年でも楽しめる新聞を生かした授業を試してみたい。

新聞記者の方は、事前に連絡をしておけば、柔軟に対応してくださるので、ぜひ各校で依頼をご検討ください。

NIE実践研究研修会
令和4年12月6日(火)
17時30分～18時30分

場所 京都市立羽東師小学校
西校舎多目的室

内容 「新聞記事から喜怒哀楽を探そう」

講師 京都新聞社
読書交流センター長
石崎 立矢様

